

新規事業評価調書

事業名		南海本線（堺市）連続立体交差事業
所在地		堺市浜寺石津町中5丁～堺市浜寺公園町3丁
事業概要	目的	南海本線（堺市）連続立体交差事業は、堺市浜寺石津町中5丁から浜寺公園町3丁に至る2.0kmの区間を鉄道高架化し、これまで鉄軌道で分断されていた地域の一体的なまちづくりが可能になるとともに、踏切渋滞が解消され交通の円滑化が図られる。
	内容	延長 L = 約2.0km 高架化される駅 諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 除却踏切数 7箇所（うちボトルネック踏切 6箇所）
	事業費	約425.0億円
	維持管理費	0（百万円/年）
	関連事業	浜寺公園駅前線沿道区画整理型整備事業 街路事業（諏訪ノ森野線、常磐浜寺線、並松浜寺南町線）
上位計画等の位置づけ		都市再生基本方針（都市再生施策の重点分野：ボトルネック踏切） 大阪府都市基盤整備中期計画（案）
優先度		府内鉄道路線の連続立体交差事業採択基準適合箇所のなかで、総合的評価（踏切遮断交通量、ボトルネック踏切数、駅利用者数、道路ネットワークの整備、周辺まちづくり計画、調査の進捗状況）を行い、優先順位をつけ地元状況や鉄道事業者の意向等も勘案し事業箇所を選定している。
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	平成15年度 着工準備採択 平成16年度 都市計画決定 平成17年度 事業採択、事業認可、用地買収着手 平成22年度 工事着手
	完成予定年	平成29年度

事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	<p>1. 道路網の状況</p> <p>東西方向の街路事業は、鉄道があるため整備がストップしている。また、踏切部において、慢性的に交通渋滞が発生しており渋滞を回避する通過交通が区内細街路に流入し、住環境や歩行者の安全性快適性が低下している。</p> <p>2. 鉄道・踏切の状況</p> <p>[鉄道の運行状況] 列車本数 564本/日</p> <p>[交通遮断の状況]</p> <p>石津川8号踏切 遮断時間 8.6h/日（ピーク時） 40分/時 諏訪ノ森1号踏切 遮断時間 8.4h/日（ピーク時） 37分/時 諏訪ノ森3号踏切 遮断時間 8.6h/日（ピーク時） 42分/時 諏訪ノ森4号踏切 遮断時間 9.0h/日（ピーク時） 44分/時 諏訪ノ森5号踏切 遮断時間 8.8h/日（ピーク時） 40分/時 浜寺公園1号踏切 遮断時間 9.2h/日（ピーク時） 43分/時 浜寺公園2号踏切 遮断時間 8.3h/日（ピーク時） 43分/時</p>
	地元等の協力体制	<ul style="list-style-type: none"> 堺市は、2001年に堺市総合計画を策定し、第1期実施計画の中に本事業の推進を位置づけ国及び大阪府に本事業の新規採択を要望している。 平成12年度に地元説明会を開催（7回、360名参加）

事業効果の定量的分析	費用便益分析	具体的な便益内容 ・費用便益分析 走行時間の効果 （走行時間の短縮） 走行経費の効果 （時間短縮による走行経費の節減）	受益者 道路利用者	費用便益比 ・ $B / C = 2.30$ 便益総額 B = 396.2 億円 総費用 C = 172.3 億円	備考 連続立体交差事業の費用便益分析マニュアル（案）により算出。
	その他の指標 （代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	踏切事故の防止 ・踏切が除却されることにより、踏切事故が解消される。 緊急車両の通行 ・踏切除去及び渋滞緩和により、緊急車両の通行が容易になる。 バリアフリー化 ・駅及びその周辺施設の整備にあわせ、バリアフリー化が促進。			
	活力	地域間交流連携の強化 ・鉄道で分断されていた地域が鉄道高架により一体化することで、発展・活性化が図られる。 ・鉄道と並行する側道を連立と同時に整備することにより南北方向の交通の円滑化も図られる。			
	快適性	渋滞の緩和 ・ボトルネック踏切の撤去により渋滞が緩和されバス等の定時性が確保。 環境改善 ・渋滞の解消に伴い、大気汚染、騒音、地球温暖化等の改善が図られる。 ・踏切除去、高架化により騒音の改善が図られる。			
	その他				

（事業名：南海本線（堺市）連続立体交差事業）

自然環境等への影響と対策	既成市街地における既存の鉄道の立体交差事業であり、新たに自然環境に与える影響はほとんどない。 沿道環境に対しては、植樹帯の設置による沿道地域への配慮。 渋滞緩和による大気質への負荷物質の排出量の抑制に寄与。		
代替案との比較検討	比較項目	原案（別線・仮線案）	比較案（直上高架案）
	経済性	直上案よりも安価	仮線案より高価
	工期	工期は長い。	工期は長い。
	施工性	特に問題なし。	特殊工法を必要とする。
	その他	安全性に優れている。 海側は仮線により騒音・振動が大きくなる。	厳重な安全管理が必要。 夜間施行が多く周辺に対する騒音・振動問題が発生する。
その他特記すべき事項			